

# 楽しい授業づくりと 運動の日常化

体力・運動能力、運動習慣等に関する調査(実技8種目及び質問紙)が、前年度に引き続き小学5年生と中学2年生を対象に実施されました。

図1 種目別一覧

- ◎…全国平均より高いまたは同程度
- …全国平均より低い、全道平均より高いまたは同程度
- △…全国・全道平均より低い

区分	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m/ハルヲ	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
小学校	男子	◎	△	△	△	○	△	◎	△
	女子	◎	△	◎	△	△	○	◎	○
中学校	男子	△	△	△	○	○	△	△	△
	女子	△	△	△	○	◎	△	○	△

※ボール投げ:小学校はソフトボール、中学校はハンドボールを使用

## 体力・運動能力等の傾向

### ■体格(身長・体重)

小学生男女がともに全国・全道平均を上回っていますが、中学生男女はともに下回る結果となっています。肥満度については、多くの児童・生徒が正常分布に属していますが、前年度に比べて小学生は肥満傾向、中学生は痩身傾向が強まっています。

### ■種目別運動能力

小学生は、前年度は不振であった「力強さ」が求められる「握力」と「ボール投げ」が優れています。また、「すばやさ」「タイミングの良さ」が必要な「反復横とび」が全く逆な調査結果となり、「上体起こし」「50m走」を含めて、今後の課題として捉えられます。中学生は、これまで3回の調査では全国・全道平均並みの優れた結果でしたが、今年度は多くの種目が全国・全道平均を下回る結果となっています。特に、女子の「柔軟性」が要求される「長座体前屈」は、以前からの課題となっています。

### ■運動能力による体力合計点分布

小学生男子は中間層が多く、上位層が少なくなっています。小学生女子は上位層と下位層に多くの子が属し、二極化現象が見られています。

中学生は男女ともに中間層が厚く、前年度に多かった最上位層が男女ともにゼロとなっています。中学生男子は

最下位層の割合も高く、全国・全道平均の3倍近くになっています。

## 運動に対する意識や運動習慣の傾向

小学生男女は、運動するのが「好き」「得意」と回答した割合は全国・全道平均を上回っていますが、「苦手」と答えた女子も少なくありません。中学生男女は、全国・全道平均をやや下回る結果となっています。

小・中学生の男女ともに、少年団・部活動等に属している子が全国・全道平均を上回っていますが、中学生は文化系の部に属している子が多く、運動系の部に限れば全国・全道平均を下回る結果となっています。また、前年度の総運動時間は小・中学生ともに全国・全道平均を上回っていましたが、今年度は短くなっています。

卒業後の運動に関しては、小学生は「中学校でも自主的に運動したい」と意欲的ですが、中学生はその割合が低くなり、全国・全道平均を下回っています。

「家の人からの運動の奨励」の設問では、小・中学生ともに男女差が見られ、男子は全国・全道平均以上ですが、女子は下回る結果となっています。



# 子育て支援 センター通信



子育て支援センター  
☎2-4152

ごぞんじですか？

## 子育て通信 「つくしんぼ」

子育て支援センターで、毎月1回発行しています。

「センターの様子」「子育てに関するアドバイス」「事業のお知らせ」「毎月の予定表」などを載せています。

子育て支援センター・上土幌保育所・ふれあいプラザに置いてありますので、どうぞ、ご覧ください。

今年度最後です！

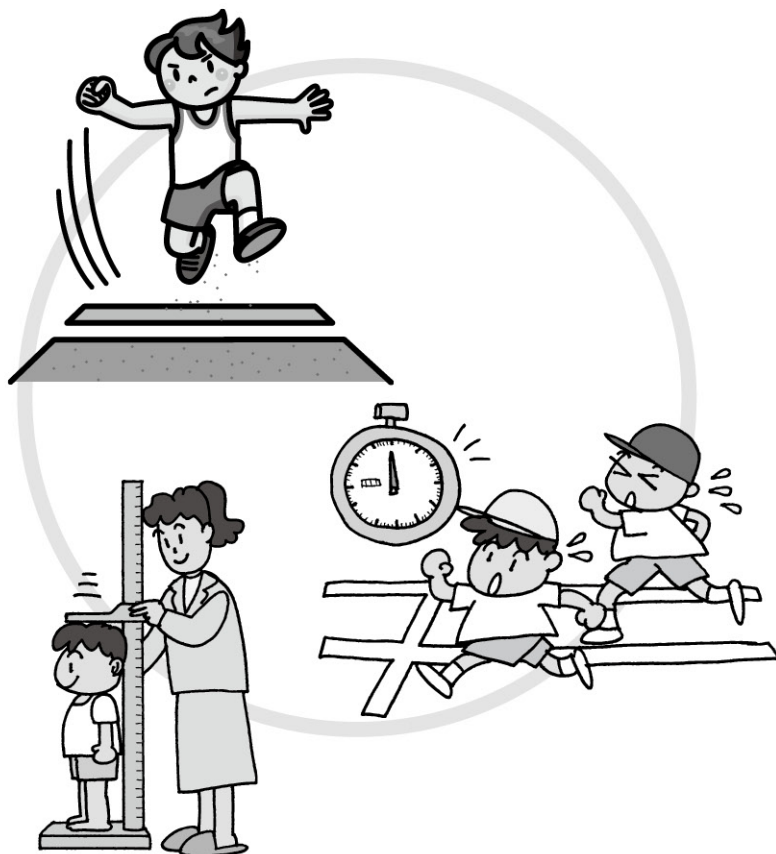
## 第5回 給食試食会

日時 2月12日(木)

11:00~12:00

場所 上土幌保育所

- ◆給食費 一食150円  
(先着5組まで)
- ◆申込期限 2月5日(木)
- ◆申込先 子育て支援センター



## 今後の取り組み

今回の調査結果をもとに良さや課題を明らかにし、課題に関しては具体的な改善策を講じ、運動する機会の一層の充実を図ります。

基本的には、生涯にわたって運動に親しむ意欲を育て、運動の楽しさや喜びを味わう経験、自ら考えたり工夫したりする経験を得ることが重要であり、学校・家庭・地域の連携・協力が必要です。

(1) 児童・生徒のニーズを踏まえた「楽しい授業づくり」に努めるとともに、意欲を持ち続けた運動ができるように、目標を立てて成就感や満足感を味わい、自信の持てる取り組みを大切にします。

(2) 課題となった種目を取り上げ、体力の五要素である「力強さ」「敏捷性」「タイミングの良さ」「柔軟性」「持続性」をバランスよく取り入れ、劣っている要素は意図的に補強運動として継続的に取り組みます。

(3) 運動時間・回数少なさが体力向上を抑制する要因と考えられますので、運動の得意・不得意にかかわらず、体を動かすことの楽しさ、心地よさを感じられるよう、運動の日常化が大切となります。

(4) スポーツ少年団や部などで運動する児童・生徒が多くいますが、更に継続して取り組めるように条件整備に努めます。

※お問い合わせは、教育委員会総務・学校教育担当(☎2-3014)まで